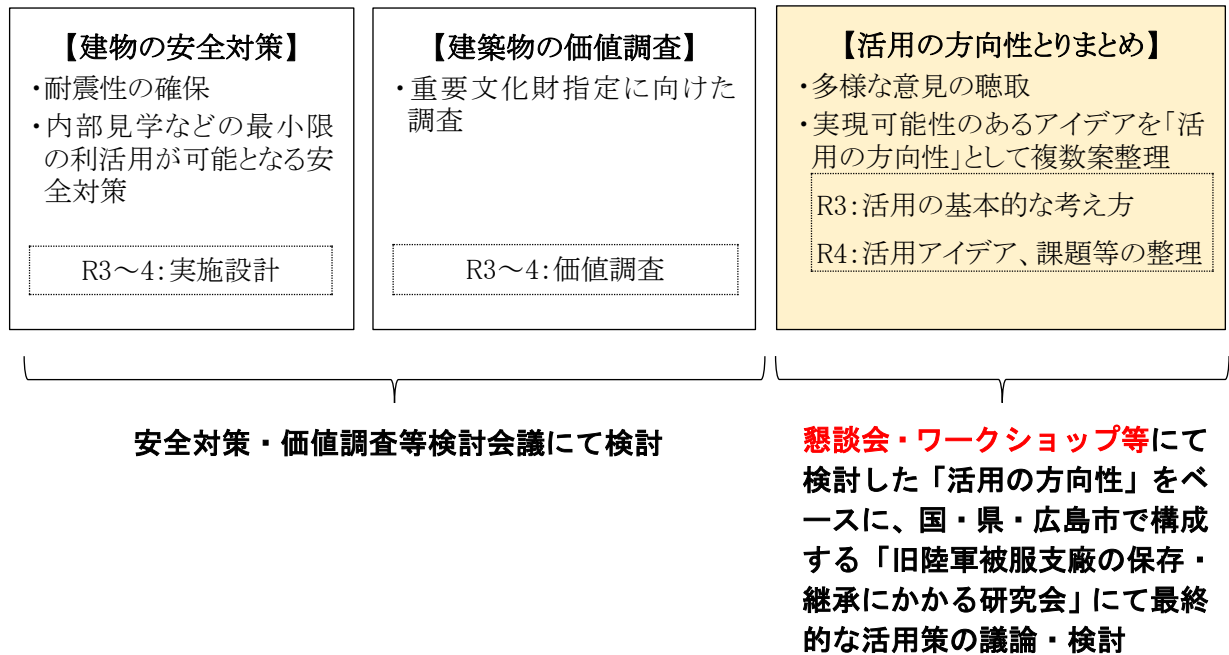
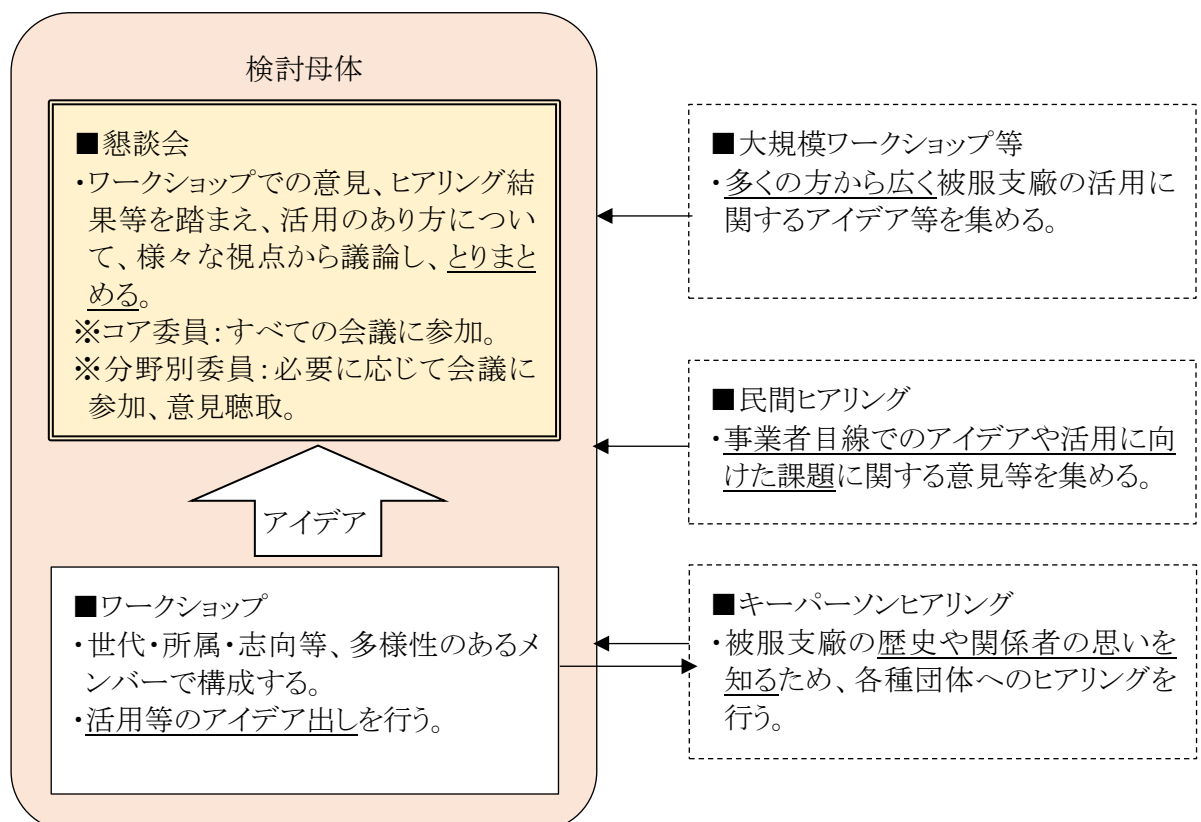


1 懇談会の目的や検討プロセス（案）

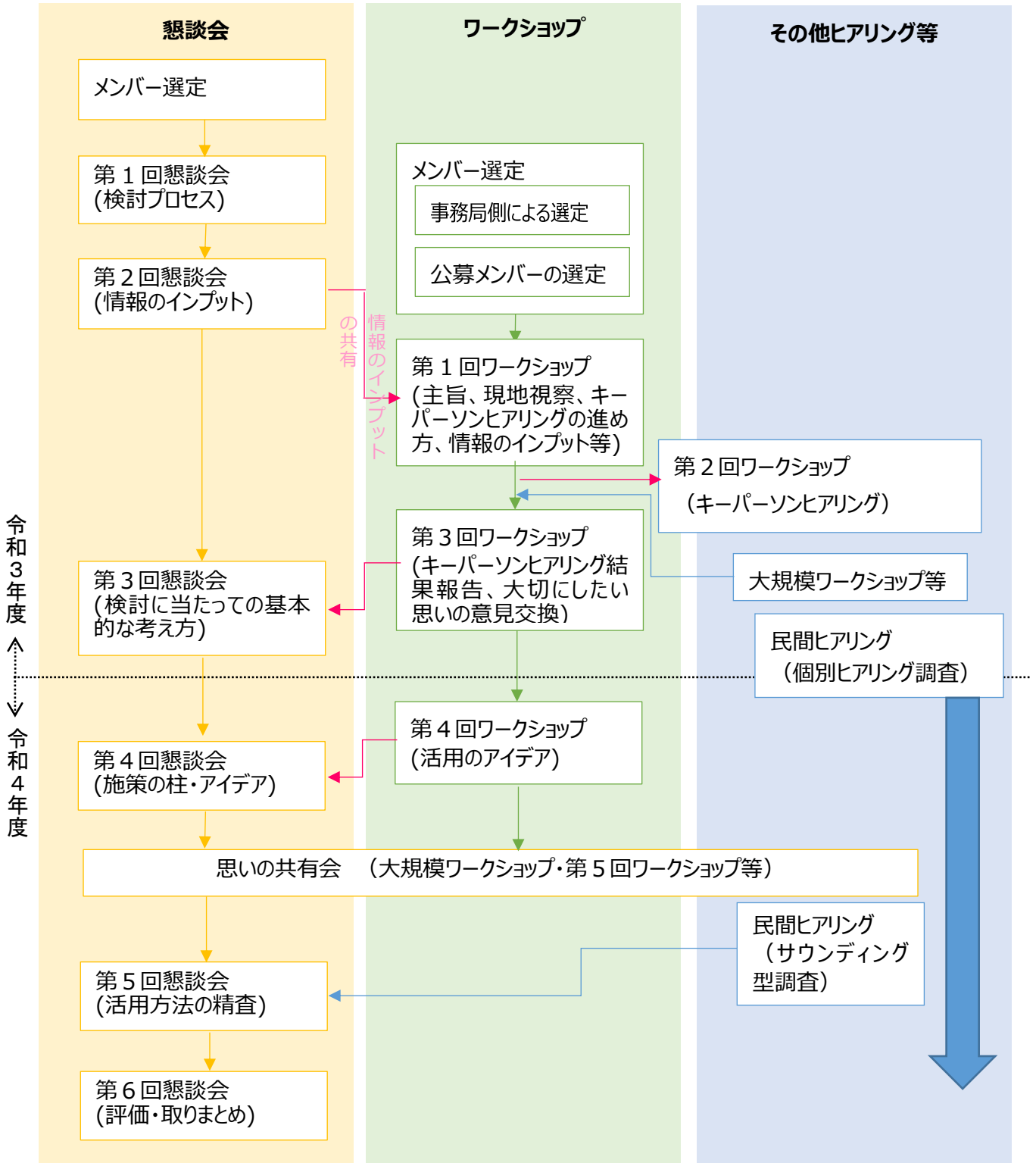
1.1 被服支廠に関する各種検討体制



1.2 懇談会・ワークショップ等の目的・役割



1.3 懇談会・ワークショップ等の進め方（案）



1.4 懇談会

1.4.1 懇談会メンバー

(1) コア委員

氏名	所属等	専門分野
安部 良	安部良アトリエ一級建築士事務所 主宰 総務省地域力創造アドバイザー	建築
岡田 昌彰	近畿大学 社会環境工学科 教授	景観工学 産業遺産
佐渡 紀子	広島修道大学 国際コミュニティ学部 教授	国際政治・平和学
田中 筒人	熊本大学 熊本創生推進機構 准教授	公共空間 マネジメント
積山 ミサ	NPO 法人 ひろしまインターネット美術館 理事 特定非営利活動法人 PRESENTSHIROSHIMA 理事長	文化・芸術
平尾 順平	特定非営利活動法人 ひろしまジン大学 代表理事	地域・まちづくり
前野 やよい	広島市郷土資料館 主任学芸員	郷土史
光井 渉	東京藝術大学 美術学部 建築科 教授	日本建築史 文化財保存

(2) 分野別委員

氏名	所属等	専門分野
江夏 正晃	株式会社マリモレコーズ 代表取締役 関西学院大学 総合政策学部 非常勤講師	音楽・映像
江夏 由洋	株式会社マリモレコーズ 専務取締役 元 立教大学 映像身体学科 兼任講師	
杉川 綾	一般社団法人広島青年会議所理事長	若手経営者
芹沢 高志	P3 art and environment エグゼクティブ・ディレクター	アート
高田 真	アーキワーク広島 代表	まちづくり団体
時岡 壮太	株式会社デキタ 代表取締役	民間活用 (民間視点)
中西 巖	旧被服支廠の保全を願う懇談会 代表	住民団体
西崎 智子	広島フィルムコミッション	映画・発信
ポール ウォルシュ	株式会社 JizoHat 代表取締役 GetHiroshima 編集長	インバウンド観光
箕 牧 智 之	広島県原爆被害者団体協議会理事長	被爆者団体
山崎 譲史	一般社団法人地域 E スポーツ教育推進協会 代表理事	E スポーツ
吉長 成恭	一般社団法人ちゅうごく PPP・PFI 推進機構 代表理事	民間活用 (公的視点)

※ 懇談会の議論により、分野別委員は増員の可能性あり。

1.4.2 懇談会の各回のテーマ(イメージ)

回	時期	議題	備考
1	令和3年11月10日	検討プロセス	<ul style="list-style-type: none"> ● 公正なプロセスであるかの確認、プロセスの決定 ● ワークショップメンバー公募資料の確認 ● 現地視察
2	令和3年12月～1月	情報のインプット	<ul style="list-style-type: none"> ● コア委員の専門分野からの話題提供（被服支廠の価値・地域の中の施設・巨大構造物の活かし方、建築物の活用事例 等） ● 分野別委員の招聘について ● ワークショップの公募メンバーの選定
3	令和4年2月～3月	検討のポイント・基本的な考え方	<ul style="list-style-type: none"> ● ワークショップで議論された大切にしたい思い、キーパーソンヒアリング、大規模ワークショップなどを踏まえ、活用に向けての基本的な考え方について意見交換 ● 分野別委員による話題提供
4	令和4年6月下旬～7月上旬	施策の柱・アイデア	<ul style="list-style-type: none"> ● 施策の柱・アイデア抽出・整理 ● 分野別委員による話題提供
	令和4年9月下旬	思いの共有会 (ワークショップメンバーも参加)	<ul style="list-style-type: none"> ● 懇談会、ワークショップ、その他関係者との意識の共有化 ● 評価・取りまとめ
5	令和5年1月下旬～2月上旬	活用方法の精査	<ul style="list-style-type: none"> ● 分野別委員による話題提供 ● 優先度、課題等についての意見交換
6	令和5年3月中旬	評価・取りまとめ	<ul style="list-style-type: none"> ● 今後の進め方についての意見交換 ● 取りまとめ

1.5 ワークショップ

1.5.1 メンバー構成案

50名程度とする。

構成イメージ		人数
懇談会委員推薦メンバー	芸術・音楽 歴史・建造物 地域交流 平和 等	25名程度
公募メンバー		25名程度

1.5.2 公募メンバー選定の方法

公募資料を作成し、県HP、県公式LINE・twitter・facebookで情報発信を行う。

参加希望者には申込書を記載、提出していただき、第2回懇談会にて選定を行う。

1.5.3 懇談会委員の皆様へのご依頼

今回のワークショップの主旨に賛同いただける方がいらっしゃれば、ご紹介をお願いしたい。

1.5.4 ワークショップの各回のテーマ(イメージ)

回	時期	議題	備考
1	令和3年 12月下旬～1月中旬	大切にしたい思い（1）	<ul style="list-style-type: none"> ● 現地視察 ● 情報のインプット ● 日頃の想いの発表 ● キーパーソンヒアリングに関する説明
2	令和3年 1月～2月上旬	キーパーソンヒアリング	<ul style="list-style-type: none"> ● 各種団体への意見聴取
3	令和4年 2月～3月上旬	大切にしたい思い（2）	<ul style="list-style-type: none"> ● キーパーソンヒアリング結果の共有 ● 活用に向けた思いについてワークショップ
4	令和4年 5月～6月	アイデア発想	<ul style="list-style-type: none"> ● 活用のアイデアに関するワークショップ
5	令和4年 9月下旬	思いの共有会	<ul style="list-style-type: none"> ● 検討結果の発表等

1.6 キーパーソンヒアリング

1.6.1 概要

実施時期	令和4年1月～2月上旬
目的	各種団体のご体験やご意見を聞く場とする。

1.7 大規模ワークショップ等

1.7.1 概要

実施時期	<p>【第1回】令和4年1月中旬～2月上旬</p> <p>【第2回】令和4年9月下旬（思いの共有会と同時開催とすることなども想定）</p>
目的	幅広く、県民、市民の皆さんのご意見を聞く場とする。